龍谷院たより

発行所　龍谷院
茨城県東茨城郡
城里町下阿野沢1509
TEL 029-289-3108
FAX 029-289-3025
編集人　薗部　義光

山門付近のアジサイ

文明社会と日々修行

住職　薗部　義光

今年は異常気象のもと、猛暑が続きます。これは文明社会がもたらす副作用ではないかと思うときがあります。現代社会は科学文明とか物質文明とかいわれ、生活に便利な世の中になっています。

今やパソコンや携帯電話は日常の必需品化し、万能の時代であります。

文明社会が発展するということは、個人の「気まま」「身勝手」を最大限認める社会であります。

気ままな生活は、ぐうたらで怠け者の生活になってしまいます。毎日の生活に自分でケジメをつけて規律ある生活が出来なくなります。その結果として、ノイローゼなど精神的な病になったり、犯罪者となったりします。毎日の規律ある日暮し（修行）を心掛けたいものであります。

さて、お盆が終わり今年も三分の二が過ぎようとしています。大きな行事といたしまして、五月十七日の大雄山最乗寺での御開山 了庵慧明禅師六百回忌の焼香師団参をはじめ第四回龍谷院檀信徒親善ゴルフ大会、恒期大施餓鬼会等すべて無事円成できました。

また、七月七日には龍谷院の総代さまが三名交代されました。いままでご尽力いただきました桐原務総代、広木貞夫総代、三村保次総代様には心より感謝申し上げます。このたび新たに就任されました三名の総代さま（加藤盛一様、川野辺博様、石崎貞夫様）には何かとお世話になります。宜しくお願い申し上げます。

新任総代挨拶

城里町高根　加藤　盛一

暑さ厳しきおり、檀信徒の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび龍谷院総代会におきまして総代を仰せつかり、七月七日から勤めさせていただくことになりました。

もとより浅学非才でありますが、ご住職はもとより先輩総代の方や檀信徒の方々のご指導ご協力を仰ぎながら護持の務めを果して参りたいと思いますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

また、このたび退任されました先輩総代の方には、長年にわたりご苦労いただき本当に有難うございました。今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

上阿野沢　川野辺　博

時下益々ご清栄の事とお喜び申し上げます。

此の度龍谷院の檀家総代をお引受けする事になりました。お寺の事は何もわからない私ですが、檀信徒の皆様の御指導と御協力をいただきながら務めて参りたいと思って居りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

御前山　石崎　貞夫

檀信徒の皆様には、日頃より龍谷院の運営及び事業の遂行につきましては格段のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼を申し上げます。

このたび平成二十二年六月六日の総代会において龍谷院総代の要職を拝命し就任いたしましたが、その責任の重大さを痛感しているところでございます。しかしながらもとより浅学非才の私にとりましては、まことに身に余る光栄であり、私も拝命いたしました以上は総代として檀信徒の皆様方のご期待にお応えできますように一生懸命、研鑽を重ねて参る決意でございますので、どうかご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申しあげます。

ご承知のとおり龍谷院は、曹洞宗の寺院として長禄三年に大山城主佐竹義成公によって開基された由緒ある寺院であり昨年は龍谷院開創五百五十年を迎えておりますが、これからも院と檀信徒が一体となって菩提寺であります龍谷院の発展のため、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

最後に、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げまして、私の就任の挨拶とさせていただきます。

新総代役員

顧問　広木　貞夫
〃　桐原　務
総代　加藤　盛一
〃　川野辺　博
〃　石崎　貞夫

大雄山焼香師

住職　薗部　義光

大雄山最乗寺開山了庵慧明禅師六百回大遠忌の焼香師として、去る五月十八日に神奈川県最乗寺に龍谷院檀信徒と共に行ってまいりました。

何故、龍谷院が大雄山から焼香師の依頼を受けたかと申しますと、龍谷院は昔の最乗寺の輪番地となっていたからです。

輪番地とは、順番に各寺院から最乗寺の住職として最乗寺に上り、一年間勤めにて帰ってきたのです。

龍谷院開山秀峰存岱和尚は最乗寺の第三十八代の住職をして行っています。当山二世住職も最乗寺七十九世として最乗寺へ行っています。

そのようなご縁を頂いて焼香師を務めてまいりました。

大雄山最乗寺御開山了庵慧明禅師六百回大遠忌

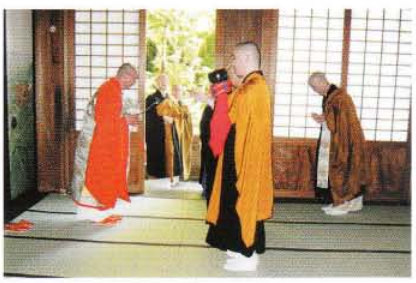
大雄山最乗寺御開山忌に参加して

岩船　小林　恵子

了庵慧明禅師六百回大遠忌の愚中諷経で、龍谷院住職が、焼香師を務める事になり、参拝団として参加致しました。緋衣を身にまとい、厳かに、難しい所作を進められている姿を拝見する事が出来、誉れと感動でいっぱいでした。

前日の夜は、御供式と言い、温かいお赤飯を神殿にお供えする儀式でした。私達からは、途中までしか見る事が出来なかったのですが、顔から体全部、白装束のお坊さんが、介添えのお坊さんに支えられ、かがり火の明りだけの長い階段を、かけ上がるのです。冷めない内にお供えする、その一途さに心打たれ、幻想的な夜のお寺での経験は忘れることができないでしょう。

私達のお世話をして下さったお坊さんは、長野県からの修行僧でした。ていねいに説明して下さり、又、待ち時間には境内を案内してくれ、とても感じのいいお坊さんでした。さぞかし立派な御住職になられる事と、確信致しました。



こういう機会に恵まれたのも、御詠歌に入っていたおかげと、感謝しております。御詠歌は、鈴、鉦で調子をとり、お唱えするという特別なものですが、この頃は少し出来るようになり、楽しくなって来ました。歌詞は、しみじみと心に響き、安らぎと人としての生き方を教えて下さいます。ぜひ、一緒に勉強しませんか。

檀信徒親睦ゴルフ大会

去る五月十四日に第四回龍谷院檀信徒親睦ゴルフ大会を開催しました。大勢のゴルファーの参加を頂き盛大に出来ました。

平成22年　第４回龍谷院檀信徒親睦ゴルフ大会参加者

優勝は、石崎貞夫様が初優勝を飾りました。
準優勝　小幡　利克様
三位　広木　一男様

ゴルフ大会の寄付者

一、橋本　茂様（トースター、扇風機、掃除機、ホットプレート）
二、広木　和久様（ボストンバッグ）
三、加藤木好紀様（ゴルフバッグ）
四、加藤木勝美様（ビール一箱）
五、加藤木勝三様（エアーポット）
六、オケキ仏具様（協賛金）
七、石崎貞夫様（協賛金）
八、石鉄石材様（協賛金、商品券）
九、花の寺めぐり会様（ランの花）

こころより感謝申し上げます。

ご寄付者
為　瑞月院通岳正信居士菩提
金　四拾萬円
水戸市　沼生　君子様

『編集後記』

・アジサイの花が見事に咲くようになりました。花の寺らしくなってきました。

・七月七日に総代の交代が行われました。前総代の方々には、寺の事業の遂行、そして諸行事の推進にご尽力下さいましたこと、檀信徒の皆様と共に感謝申し上げます。尚、新任の世話人様よりご挨拶を戴きましてありがとうございます。ご三人共、龍谷院発展の為ご尽力下さるとのこと、心強い限りです。よろしくお願い致します。

大雄山最乗寺に於て開山了庵慧明禅師六百回大遠忌龍谷院住職焼香師は、五月十八日、龍谷院参拝団が参列して「禹中諷経（うちゅうふぎん）」（午前十時のお経）が実施されました。最乗寺での参籠の様子を、小林様よりご寄稿いただき、ありがとうございました。

今年は、特に猛暑日が続きましたが、皆様には、お元気にてお過ごし下さい。

編集委員　杉山三千雄
稲川　清

開山忌並びに先祖供養会

平成二十二年十一月一日（月）
午前一〇時打ち出し
午前一〇時半　法話
午前十一時半　先祖供養
終了　昼食

平成二十三年度 節分会募集

平成二十三年二月三日
豆まき　一万円
星祭　三千円

檀信徒の募集中

親戚縁者関係の皆様に菩提寺の護持のため是非お檀家になられますようお願い致します。詳しくは当山まで。
電話〇二九―二八九―三一〇八